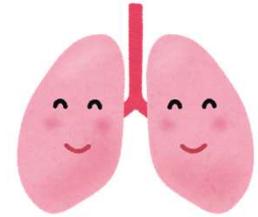


## 東8階病棟 (呼吸器内科 呼吸器外科)



呼吸器疾患の急性期（周手術期含む）・回復期・慢性期・終末期とあらゆる時期の患者を対象としています。代表的な疾患は、肺がん・気胸・肺炎（間質性肺炎、誤嚥性肺炎）・気管支喘息・COPD・肺気腫などであり、特にかん拠点病院としての役割を担うため肺がん治療(手術療法、化学療法、放射線療法、治験)や、内視鏡的治療である気管内ステント術も多く行っています。人工呼吸器を使用する患者も多く、呼吸サポートチームと連携し、安全な人工呼吸器管理と離脱に努めています。呼吸苦やがん性疼痛のある方には苦痛の緩和を行い、安楽な看護を心がけています。近年では、在宅に移行する方も多いため地域連携スタッフと協働し在宅支援を踏まえた看護を行っています。元気をモットーに、スタッフ一丸となって患者さんの思いに寄り添った看護に努めています。

